

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例1

<事例概要>

- ・ 60歳代、直腸腫瘍の患者。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、ヨード造影剤（イオメロン）。CT検査室で発症。
- ・ 過去に造影剤を使用したか、アレルギー症状の出現無。
- ・ 造影剤を注入直後、咳嗽が出現。初発症状から1分後（撮影中）、気分不快があり、2分後（撮影終了時）、著明な眼結膜充血、冷汗、嘔気、顔面発赤を認め、医師等へ連絡。5分後、嘔吐し意識レベルが低下。アドレナリン0.3 mgを筋肉内注射し、緊急コール。8分後、血圧測定不能となり救急処置を実施するが、約1時間後に死亡。